JA秋田厚生連
大曲厚生医療センター

大曲厚生医療センターだより

2018.3
Vol.27
平成30年3月15日 発行

〒014-0027　秋田県大仙市大曲通町 8-65　秋田県厚生農業協同組合連合会 大曲厚生医療センター
TEL 0187-63-2111　FAX 0187-63-5406　URL http://www.okmc.jp　E-mail info@okmc.jp　発行責任者／後藤伸一

脳神経外科

ごあいさつ

診療部長　柳澤　俊晴

皆さんこんにちは、脳神経外科の柳澤です。平成 28 年 11 月から前任の佐々木順孝先生（現ささき脳神経外科・内科クリニック院長）の後任として勤務しています。転勤してから１年が経ち、なんとなく慣れてきたかなっというのが実感です。とはいえまだまだ不慣れなことも多く、皆さまには今後もご迷惑を多々お掛けすることと思いますが、宜しくお願い申し上げます。

３月は別れの季節。当院でも３月には多くの退職者の皆さんをおくらなければなりません。退職者の皆さん、本当にお世話になりました。今後も健康に留意され、次のステージでも頑張ってください。ありがとうございました。

当院医局でも初期研修医７名が２年の研修を終え、更なるステップアップを目指し、専門分野に足を踏み入れていきます。残念ながら当院研修医からは共に脳神経外科を勉強してくれる先生はいらっしゃらないのですが、幸い４月から３人の先生が秋田大学脳神経外科に入局し、共に勉強していくことになりました。通常、地方大学の脳神経外科の入局者は０か１人。何年か前に秋田さきがけ新聞に脳神経外科の不足人数 23 人と載っていました。これは充足するのに単純計算で 23 年、実際には退職者がいるので、永遠に充足することはないでしょう。それが来年度３人の新入医局員を迎えられる。近年ではない、嬉しさであります。

脳神経外科は脳卒中（脳血管障害）をはじめ、頭部外傷、てんかん、脳腫瘍、先天奇形、機能脳外科（顔面けいれん、三叉神経痛、パーキンソン病等）、脊髄脊椎疾患など、その診療分野は多岐にわたります。その中でも最も患者さんが多いのは脳卒中であり、昨年の当科の入院患者の内、約 60％が脳卒中の患者さんでした。脳卒中は脳梗塞、脳出血、くも膜下出血が主な疾患ですが、その内脳梗塞が 70％を占めています。どの科も同じですが、医療の進歩は目覚ましく、日々新しい知識を取り入れなければなりません。脳外科も同じで様々な疾患で治療方針が変わっています。例えば破裂脳動脈瘤に対するコイル塞栓術や脳動静脈奇形や転移性脳腫瘍の定位放射線治療など（おかげで？、開頭術が減り、若手医師にどのように教育するべきか、手術技術の伝承をどうすべきかという問題がないわけではありませんが…）、その中でも脳梗塞の治療が最も変わりました。今から 10 年ほど前に tPA（recombinant tissue plasminogen activator）が保険適応となりました。私が入局した当時は脳梗塞の患者がくれば、点滴を行い、寝かしておいたものでした。しかし、tPA の出現で脳梗塞は脳卒中の中で最も治療を急がなければならない疾患となりました。それは、皆さんもご存じの通り、tPA は発症後 4.5 時間以内に治療が開始されなければなりません。しかも、早ければ早いほど治療成績が良好といわれていることから、一刻も早く、治療を開始することが求められています。更に血管内治療の進歩で tPA 治療に引き続き、血栓回収療法を行うことが可能になりました。この治療も可能な限り早期の治療が求められています。実際には脳梗塞全体で tPA 治療が行われる割合は全国平均で５％と言われています。当院では皆さんのご協力のおかげで昨年の tPA 治療率は 8.6％でした。また、昨年の血栓回収療法は 31 件で県内最多でした。また、リハビリテーションも非常に重要で、現在では発症当日から開始されることが常識となっています。アメリカのデータでは週末に発症した脳卒中の患者予後が平日発症の成績よりも悪いというデータもある位です（土日にリハビリテーションが施行されないから）。当院では土曜日もリハビリテーションを行っていただいています。日々ありがとうございます。このように皆さんのご協力によって治療成績も年々向上しています。しかしながら特に 80 歳以上の高齢者では予後良好群が 10％前後と少数で、まだまだ満足できる結果ではありません。更なる治療成績の向上を目指し、皆さんと共に頑張っていきたいと思っていますので、引き続きご協力の程宜しくお願いします。

余談ですが、現在（この原稿の執筆は２月）、ピョンチャンオリンピックの真っ最中、これまで羽生結弦選手、小平奈緒選手が金メダルを獲得しました !!! おめでとうございます。この後の選手もがんばれ !!! 今年は６月にサッカー W 杯もあり、スポーツ観戦が趣味の私には楽しみが多い年になりそうです。また、余談の余談ですが、全国脳神経外科野球大会も今年は秋田で行われます（こまち球場にて）。優勝目指して頑張ります（昨年は準決勝敗退でした）。

平成２９年度

接遇優秀職員紹介

大曲厚生医療センターでは、患者さんはじめ地域住民の方々への「接遇」（ホスピタリティー）を重要項目と位置づけ、「利用者満足度アンケート」「接遇研修会」「接遇優秀職員の表彰」などの取組みを行い、接遇の向上に努めております。

今回は、「平成29年度　接遇優秀職員」に選ばれた２名の職員をご紹介します。

消化器科　医師

鶴　岡　未　央

皆様、こんにちは。突然ですが、少しだけ思い出していただけるでしょうか。新しいランドセルを背負って、少しの不安とワクワクを胸に初めて通った教室。教壇の先生に向かって朝の挨拶し見上げたその時に。または、時間割を確認した教室の後ろの黒板に。こんな言葉が書かれていなかったでしょうか。――『えがおで、げんきにあいさつをしましょう』、『ひとの目をみておはなししましょう』、『おもいやりの心をもちましょう』――。私たちは誰もが、小学校１年生の頃から接遇の、と言うよりは人と人とが接する時に大切にしなくてはいけない姿勢の基盤を、しっかりと教え込まれてきているはずなのです。そしてそれはきっと、幼い頃の方が自然とできていた事も多いのではないでしょうか。私たちは大人になって恥じらいを知り、経験や立場を得て、時には錯綜する人間関係の中に身を置くうちに、もっとシンプルでいて、かつ人の心を動かしあたためるものとは何かを忘れてしまっているのかもしれません。接遇とは、辞書の中では「もてなすこと」とあります。あるビジネスサイトでは、「お客様は特別ですと態度で示すこと」とありました。私はそんな味気のない機械的なものでは無く、立場はどうあれお互いがあたたかい気持ちになれること。相手を本当に大事に思うこと。人間同士だからこそできる心の触れ合いと伝え合い、それが接遇だと思います。様々なフィールドにおいてAI（人工知能）の活躍が広がる昨今、永遠に人間にしかできないことはここにあると思います。

ある日の仕事後、病院前の横断歩道ですれ違いざまに部活帰りの中学生が、「こんにちはー！」と挨拶をしてくれました。「あ、こんにちは…」とぼそっとしか言えなかった自分にはっとし、反省しました。今このように、この場をお借りして語る機会をいただけたのは彼のおかげかもしれません。私のような若輩者にこのように接遇について、転じて医師としての役割や理想の医師像を改めて見直す機会を下さった、普段から見守ってくださる皆様に心から感謝いたします。一医師としては、チーム医療のリーダーとして、誰にとっても安心感のあるあたたかな医療の場を作ることのできる存在となるべく全力で精進していきます。今後もよろしくお願いいたします。

４階西病棟　助産師

小松田　ユカ

この度は平々凡々な私に貴重な一票を投じて頂き、驚きと感謝の念に堪えません。この場をお借りしましてお礼申し上げます。今回「接遇で心がけていること」とお題を頂戴しましたが、自分の粗忽ぶりに苦慮する毎日で、立派な事は書けそうにもありません。代わりと言っては何ですが、私自身が手本にしたいと感じた対応についてお話しします。今から20年程前、初めての勤務交代で内科系の病棟に異動になった時の事です。産婦人科の経験しかない私は中堅とは名前だけの「年とった新人」で、全くの戦力外でした。完全に足手まといでしかない私を抱えて多忙な業務に従事するスタッフは、二重に苦労したことと思います。無知・未熟が患者の命取りになるこの仕事、誰彼構わず質問し教えを乞う毎日でした。そんな私に異動先のスタッフは、どんなに多忙でも嫌な顔一つせず、懇切丁寧に教えてくれたのです。諸先輩はもちろんのこと、自分より年下の若いスタッフも。膨大なマニュアルを書き写す私を気遣い、「無理しないで」とやさしく声を掛けられた時、不覚にも涙が溢れそうになったのを鮮明に覚えています。「親切丁寧に思いやりをもつ」接遇の基盤となるこの二つがどんなに人を支えるか、自分の身を持って体験しました。内科系での修行は病棟編成の為２年で終わりを迎えました。不思議なことに２年の間に産婦人科に戻りたいと考えたことは、一度もありませんでした。無我夢中で慣れない仕事に苦しむ私の心に、同僚・諸先輩・上司が「寄り添ってくれている」と毎日感じていたからだと痛感しています。修行時代を通じて体験した、“親切丁寧に相手の心に誠実に寄り添うこと”を、日々の目標とし修練を重ねる毎日です。

緩和ケア病棟行事・ボランティア紹介

緩和ケア病棟では、患者さんの苦痛緩和だけでなく、患者さんとご家族がリラックスできるよう、病棟内の環境整備に努めています。直接ルーフガーデンに出てバラなどの花々や、野菜の成長を楽しむことができます。

これらの手入れは、植栽ボランティアの方々によって行われています。病棟内では、家庭的生活環境の整備や各種行事への協力を、病棟ボランティアの方々に協力して頂いています。今後は、お茶やコーヒーなど、患者さんやご家族への直接サービスをしていきたいと考えています。

夏祭り

クリスマス

昔語り

昔語り

七夕

ルーフガーデン

ハロウイン・秋の壁作成の絵

れんけい室タイムズ

FACE TO FACE Vol.21

室長あいさつ

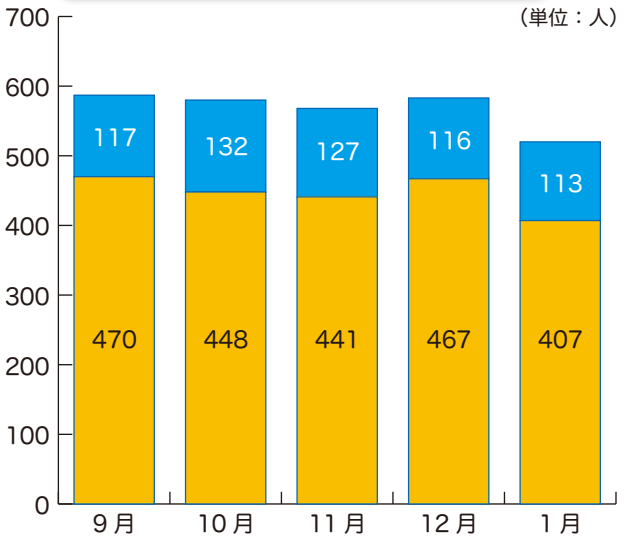
副院長（外科）　**小野　文徳**

今冬もインフルエンザが流行しています。「インフルエンザ」という病名は、「影響」を意味するイタリア語influenzaから名付けられましたので、「インフルエンツァ」と呼ぶのが正しいのかもしれません。今年はワクチンの効果がいまいちのようで、米国では約10年ぶりに大流行しているとのことです。医療関係者の罹患は多大な「影響」を及ぼしますので、十分な感染対策をお願い致します。また、この病院だよりが発行される頃には流行が下火になっていることを祈ります。

実績報告

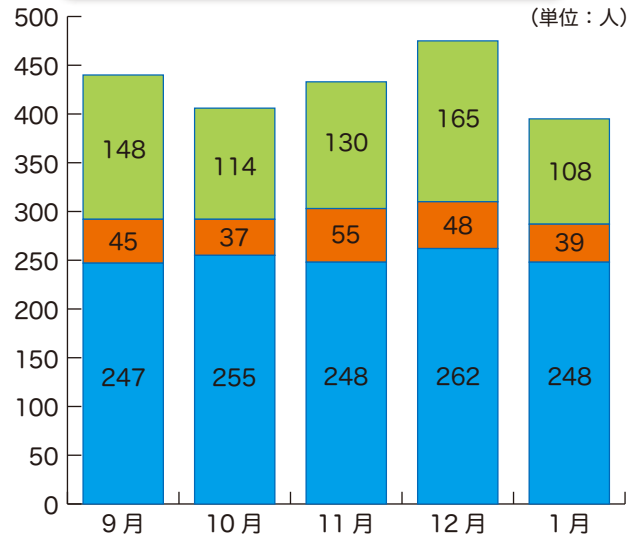
H29年９月からH30年１月の紹介患者数と逆紹介患者数になります。地域医療連携の観点から逆紹介向上のためにかかりつけ医の推進に努めてまいりたいと思います。

紹介患者数　平成29年9月～平成30年1月



	9月	10月	11月	12月	1月
予約外	117	132	127	116	113
予約	470	448	441	467	407

逆紹介患者数　平成29年9月～平成30年1月



	9月	10月	11月	12月	1月
逆紹介（紹介元へ）	148	114	130	165	108
転医	45	37	55	48	39
他紹介	247	255	248	262	248

平成29年度地域医療連携満足度アンケート結果

連携医療機関へ地域連携における満足度調査を行いました。お忙しい中、アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。

地域医療に関するアンケート結果

※アンケート目的…地域の医療機関からのニーズを拾い上げ、円滑な地域連携が出来るように取り組む
※アンケート対象…大仙・仙北・美郷町地区の医療機関76か所
※調　査　期　間…平成29年９月11日～平成29年10月11日
※アンケート配布数…76枚　　回収数…53枚　　回収率…70％

1．当院へのご紹介の理由について（複数回答）

	項　　目	回答数
1	紹介したい診療科(専門領域)がある	43
2	病状に対して、適切な対応がなされる	39
3	紹介時速やかに対応している	37
4	面識の深い医師がいる	32
5	紹介窓口が明確で、紹介しやすい	32
6	貴院、または患者の居住地と距離が近い	31
7	紹介患者の報告書が速やかに送られてくる	27
8	患者からの要望がある	25
9	紹介を断られたことがない	24
10	他の医療機関と比較して、医療レベルが高い	20
11	逆紹介がしっかりと行われている	18
12	スタッフの対応が良い	18
13	患者からの評判が良い	16

2．ご希望の日時や担当科医師の予約が取れていますか

	項　　目	回答数
1	ほぼ満足している	50
2	改善の余地がある	3
3	無記入	0

3．当院はどのような病院だとお考えですか（複数回答）

	項　　目	回答数
1	救急対応を依頼する病院	47
2	専門的診療を依頼する病院	44
3	急性期の入院治療を依頼する病院	38
4	画像診断を依頼する病院	13
5	内視鏡検査を依頼する病院	9
6	教育入院を依頼する病院	7
7	最新の医療情報を得られる病院	6

4．連携室経由の救急紹介患者について、連携室の受け入れ方法やその対応についてはいかがでしょうか

	項　　目	回答数
1	ほぼ満足している	50
2	改善の余地がある	3
3	無記入	0

かかりつけ医をもちましょう！

以上の結果となりました。
いろいろなご意見やご指摘をいただきましてありがとうございました。参考にさせていただき、今後のより良い連携のありかたについて検討してまいりたいと思います。
今後ともよろしくお願いいたします。

大曲厚生医療センター　地域医療連携室

※「バトンタッチ」「トピックス」はお休みします。

採血に関するミニ知識

採血の方法について

病気の診断や経過を観察するうえで、血液検査は必須となっていますが、採血にはいくつかの方法があります。近年は針が短く、固定用の羽根が付いたチューブ一体型の「翼状針」が推奨されおり、この翼状針を採血管ホルダーに連結させた状態で穿刺を行い、採血管をセットする（真空採血）ことで目的に応じた血液量を正確に採取することができます。以前は直針と注射器の組み合わせで採血することが多かったのですが、この欠点として採血管に血液を小分けする際に必要量を間違える、時間がかかる、また採血者が誤って手に針を刺すといったことがありました。現在は採血管ホルダーを用いた方法で採血することで欠点は回避され、翼状針を用いることで患者さんに対する安全性も向上しています。しかし、注射器を用いた採血が全く行われない訳ではなく、小児で採血量をできる限り抑えたい場合や、頻回に採血して血管が細くなった患者さんの場合は、真空採血管を用いた採血より注射器を用いたほうが容易で安全な場合があります。つまり、状況に応じて真空採血管と注射器による採血方法とを使い分けることがあるのです。

採血管の種類について（キャップ色や大きさが異なる）

検査項目の内容によって採血量や本数、また扱い方が異なります。例えば、肝臓や腎臓、ホルモン等の検査では血液の中の液体成分を用いますが、血液の細胞を検査する場合は、採血管に血液を固まらせない薬品を入れておく必要があります。血液が固まると赤血球や血小板といった血液細胞の数がとても低い値となります。他に血液の固まる能力や血糖の検査でも、特殊な薬品が入った採血管に採血しなければなりません。採血管やその扱いを間違えると本来の正しい検査値とならず、診断や治療を誤らせる事にもつながりかねません。つまり、採血管の蓋の色や大きさを違えることで見分け易くして、適正な取り扱いを行っています。これらのことから、検査の内容によっては採血の本数が多くなる場合もあります。

採血後の出血を防ぐために

採血後の皮下出血や腫れは極力避ける必要があります。しかし、採血した部位をきちんと押さえないことにより、これらの症状を引き起こすことがあります。採血後は３～５分程しっかり指で押さえ続け、一時的に押さえを緩めたり、１分も経たないうちに押さえを止めたりしないことが重要です。特に血液をサラサラにするお薬を飲んでいると出血しやすくなりますので、しっかりした押さえが必要です。押さえについては医療従事者が注意を促しますが、ご自身でも細心の注意が必要な行為となります。

（参考：一般社団法人　日本衛生検査所協会）

外来診療担当医一覧

平成 30 年 3 月 1 日現在

診療科	月	火	水	木	金	受付時間等
内科（血液・感染症）	仁村　隆	秋田大学	仁村　隆	茂木　睦仁	仁村　隆	8:30~11:00 糖尿病外来新患診療（木）
	茂木　睦仁	茂木　睦仁	井上　武	小澤　政豊	秋田大学	
	腎臓病外来 小澤　政豊			腎臓病外来 小松田　敦		
		糖尿病外来 高嶋　悟		糖尿病外来 大友　瞳	糖尿病外来 安藤　清香	
内　科（循環器）	宇塚　裕紀	秋田大学	加藤結花	高橋陽一郎	秋田大学	8:30~11:00 新患診療（月・水・金）
	加藤　結花	加藤　結花	ペースメーカー外来（高橋）	佐々木一哉	加藤　結花	8:30~11:00 再来完全予約制
		呼吸器・アレルギー（秋田大学）			呼吸器・アレルギー（秋田大学）	火 13:00から　予約制 金 11:00まで　予約制
			心臓血管外科（秋田大学）			予約制 8:30~11:00
内　科（消化器）	沖口　将夫	三浦　雅人	小野地研吾	沖口　将夫	肝外来 三浦　雅人	8:30~11:00
	小野地研吾	沖口　将夫	秋田大学	堀井　享	堀井　享	
				秋田大学	鶴岡未央（午前） ☆菅原正伯(13:00~)	☆神経内科 完全予約制
小児科	五十嵐　希世志	小山　勝幸	五十嵐希世志	吉田秀一郎	佐藤　姫子	8:30~11:00
	大村　映子	佐藤　姫子	小山　勝幸	大村　映子	大村　映子	
	佐藤　姫子	吉田秀一郎	佐藤　姫子	☆神経外来 矢野　珠巨	吉田秀一郎	☆8:30~11:00 予約制
					☆心臓外来 秋田大学	☆第1・3（金）　予約制 13:30~
外　科	小野　文徳	大村　範幸 荒木　孝明	柏木　良介	小村　俊博	谷口　肇	8:30~11:00 (木）腫瘍内科（秋田大学）
呼吸器外科	中川　拓		中川　拓		中川　拓	8:30~11:00
	髙嶋　祉之具		髙嶋祉之具		髙嶋祉之具	
	岩井　英頌		岩井　英頌		岩井　英頌	
泌尿器科	熊澤　光明	神崎　正俊	熊澤　光明	熊澤　光明	神崎正俊・灘岡純一（各週交互の診察）	8:30~11:00
	関根　悠哉	灘岡　純一	灘岡　純一	神崎　正俊	関根　悠哉	
産婦人科（婦科）	山本　博毅	長尾　大輔	設楽　明宏	山本　博毅	長尾　大輔	8:30~11:00
産婦人科（産科）	設楽　明宏	山本　博毅	長尾　大輔	長尾　大輔	山本　博毅	
耳鼻咽喉科	垂石　羊司	垂石　羊司	垂石　羊司	垂石　羊司	応援医師	8:30~11:00 ☆毎月第1週目なし
			応援医師	☆応援医師		
整形外科	魚住　弘明	佐藤　心一	佐藤　心一	洞口　潔	佐藤　心一	8:30~11:00
	後藤　伸一	松本　周	後藤　伸一	後藤　伸一	魚住　弘明	
	洞口　潔（10:30まで） 栗山恭明（10:30から）	古口昌志（10:30まで） 佐藤貴也（10:30から）	魚住　弘明	松本　周（10:30まで） 佐藤貴也（10:30から）	古口昌志（10:30まで） 栗山恭明（10:30から）	
皮膚科	石河　軌久	石河　軌久	石河　軌久	秋田大学	石河　軌久	8:30~11:00
脳神経外科	大前　智也	柳澤　俊晴	柳澤　俊晴	大前　智也	柳澤　俊晴	8:30~11:00
	柳澤　俊晴	大前　智也	大前　智也	柳澤　俊晴	大前　智也	8:30~10:00
緩和ケア科	秋山　博実		秋山　博実	秋山　博実		完全予約制
眼科	髙橋　永幸	秋田大学	髙橋　永幸		髙橋　永幸	8:30~11:00(火)予約制
放射線科		安倍　明			安倍　明	9:00~11:00
歯科口腔外科	鈴木　靖子	鈴木　靖子	鈴木　靖子	鈴木　靖子	鈴木　靖子	完全予約制　急患は必ず電話連絡必要9:00~11:00
	桑島　精一	桑島　精一	桑島　精一	桑島　精一	桑島　精一	

※土・日曜日と祝祭日は全科休診です